

令和 5 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立新翔高等学校 校長名：宮井 貴浩

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・キャリア教育や地域との協働を推進し、地域と共に生徒を育てる学校
- ・優しさと思いやりの心を持ち、コミュニケーション能力と自己管理能力を身につけ、時代の変化に主体的に対応できる生徒
- ・課題対応能力とキャリアプランニング能力を持ち、社会及び地域に求められ貢献できる生徒

学校評価の公表方法

- ・育友会総会並びに学校運営協議会の場で自己評価及び学校関係者評価の結果を周知する。
- ・ホームページをとおして広く公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（3月25日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	・基礎・基本の定着 ・「わかる」を実感できる授業実践	B	・基礎学力を定着させるための支援と補習の充実	・習熟度別授業の充実	B	主要教科を中心に習熟度別授業を実施している。	基礎・基本の定着に向けて、各教科とも常に改善・工夫に取り組んでいる。特に障害のある生徒に対しては非常にきめ細やかな指導が行われている。今後は各教科ともICT機器の活用やUDの観点を取り入れた授業を充実させていく。
			・生徒の学習意欲の向上、ICT機器の活用等、教員の授業力・指導力の向上	・授業改善のための研究授業 ・公開授業の実施	B	全教員の研究授業を2回（11月、2月）に実施し教員の授業力や指導力の向上を図った。	
			・障害のある生徒への支援 ・通級指導制度の取組	・黒板の使用法の統一化 ・全員参加の校内研修実施	A	学期に1回、外部講師による授業改善研修を実施し障害のある生徒への理解を深めた。通級指導も充実している。	
2	・地域協働の活性化 ・キャリア教育の充実	B	・地域未来づくりプロジェクトチームの活動	・地域の発展・活性化をめざす取組への参加・貢献 ・地域を愛する生徒の育成	A	プロジェクトチームを中心に様々な地域イベントに参加し、地域住民との交流を行った。	昨年度立ち上げた「地域未来づくりプロジェクトチーム」や観光の授業において積極的に地域との交流を行った、今後もさらに活動の拡大・充実を図る。また、進学・就職に関する取組の内容やキャリアパスポートの活用方法を検討していく。
			・産業社会と人間、総合的な探究の時間をとって職業観・勤労観の育成 ・生徒会活動・部活動の活性化	・職業観・勤労観を高める取組 ・キャリアパスポートを活用した振り返り	B	多くの進路ガイダンスや複数の企業見学を実施した。キャリアパスポートを十分に活用しきれなかった。部活動加入率はまだまだ低い。	
			・地域や産業界との連携を図り、体験活動や外部人材による授業等の充実	・地域人材を積極的に活用した授業 ・将来地域を支える生徒の育成	A	観光の授業において、地元企業と連携した商品開発や販売を行った。	
3	・人権の尊重と社会性の向上 ・健康、安全教育の充実と環境整備	B	・系統、計画立った人権教育の推進 ・外部講師を活用した人権講話の充実	・組織として一体化した指導	B	人権LHRや外部人材による人権講演会等に年間をとって継続的に取り組んだ。	学校全体で取り組んできたが、理解が不十分な生徒も見られるため指導内容を精査し、さらにいねいな人権教育を実践する。防災スクール等は地域住民と合同での実施をさらに充実させていく。
			・健康管理の徹底 ・学校設備の整備	・手洗い、換気等の指導 ・学校設備の定期点検	A	感染症対策として指導・点検を行った。	
			・防災スクール、防災避難訓練等とおした危機対応能力の向上	・外部機関と連携した防災スクール、避難訓練の複数回実施	B	防災避難訓練を2回、1学年を対象とした防災スクールは地域住民と合同で実施した。	
4	・社会秩序を重んじる態度の育成 ・いじめ防止の徹底	B	・あいさつ運動の充実 ・全職員による指導体制の確立 ・命の大切さを学ぶ取組の充実	・朝の挨拶運動の実施 ・服装頭髪確認、ASや各種講話の定期的な実施 ・ルールやマナーの確認や教えを受け止める姿勢	B	基本的な生活習慣、ルール、マナーの確認を年間とおして継続的に実施した。	規範意識を育て、いじめを防止するための取組は学校全体で取り組んでいる。安全・安心な学校のために、生徒支援のさらなる充実を生徒指導部、生徒支援部を中心に検討していく。
			・課題を抱える生徒や支援を要する生徒・不登校生徒に対する教育相談の充実	・迅速かつ適切な聴取、面談、ケース会議等の実施や家庭との連携	A	教育相談に関してはSCやSSWと連携し、きめ細やかな対応ができています。	
			・個人面談の充実	・養護教諭、教育相談係、SC、SSWの積極的な活用	A	分掌間、担任間の連絡を密に取り、SC、SSW、JSTの協力も含め相談体制は整っている。	

学校関係者評価（2月8日実施）

学校運営委員からの評価は概ね高いものとなっている。地域活動や他の学校にはない特色、体験活動などについて高評価をいただいている。

以下に示す意見があった。

- ・学習活動や部活動の内容が地域全体に浸透するよう情報提供してほしい。
- ・新宮・東牟婁地方の高校再編に関しては、魅力ある新しい学校づくりに向けて、しっかりと協議を重ね1つずついねいに進めていってほしい。
- ・学校行事については、コロナ禍前に戻り、生徒たちの活発な活動が見られた。地域の協力は惜しまない。
- ・生徒の人間力向上のために、引き続き手厚い生徒支援をお願いしたい。